

平成30年7月豪雨 熊本県学校支援チーム活動の状況について

派遣先：広島県

第1次派遣：平成30年7月11日(水)～13日(金)

県立教育センター	指導主事	塩村	勝正 (隊員)
教育政策課	主 幹	梶原	賢吾 (情報連絡員)

第2次派遣：平成30年7月16日(月)～20日(金)

県立教育センター	主 幹	大塚	芳生 (リーダー)
県立教育センター	指導主事	有田	啓二 (隊員)
県立教育センター	指導主事	林田	祐二 (隊員)

平成30年7月豪雨熊本県学校支援チーム派遣について

●各訪問先に「防災教育と心のケアハンドブック」を提供し、次の活動を実施。

<第1次派遣>

7月11日（水）～13日（金）

- ・ 広島県教育委員会で情報収集や学校支援チームの活動内容、熊本地震発生時における熊本県教育委員会の取組を説明。
- ・ 坂町教育委員会及び町内4校（中学校1、小学校3）の教職員に対し、発災初期における学校再開や心のケア等について助言。

<第2次派遣>

7月16日（月）～20日（金）

- ・ 坂町3校（中学校1、小学校2）を訪問し、学校再開時の状況確認や心のケア等について助言。
- ・ 広島県西部教育事務所で情報収集と坂町等での活動内容を報告。
- ・ 海田町教育委員会及び町内6校（中学校2、小学校4）の学校長等に対し、心のケア等について助言。
- ・ 海田小を訪問し、被害の状況等を聴取。
- ・ 府中町教育委員会で情報収集と心のケア等について助言。

熊本県学校支援チーム派遣の概要

●派遣先

- ・広島県教育委員会
- ・3町教育委員会(坂町、海田町、府中町)
- ・4小中学校【坂町】(坂中、坂小、小屋浦小)
【海田町】(海田小)

●派遣期間及び人数

第1次派遣

期間:平成30年7月11日(水)~7月13日(金)

人数:2名

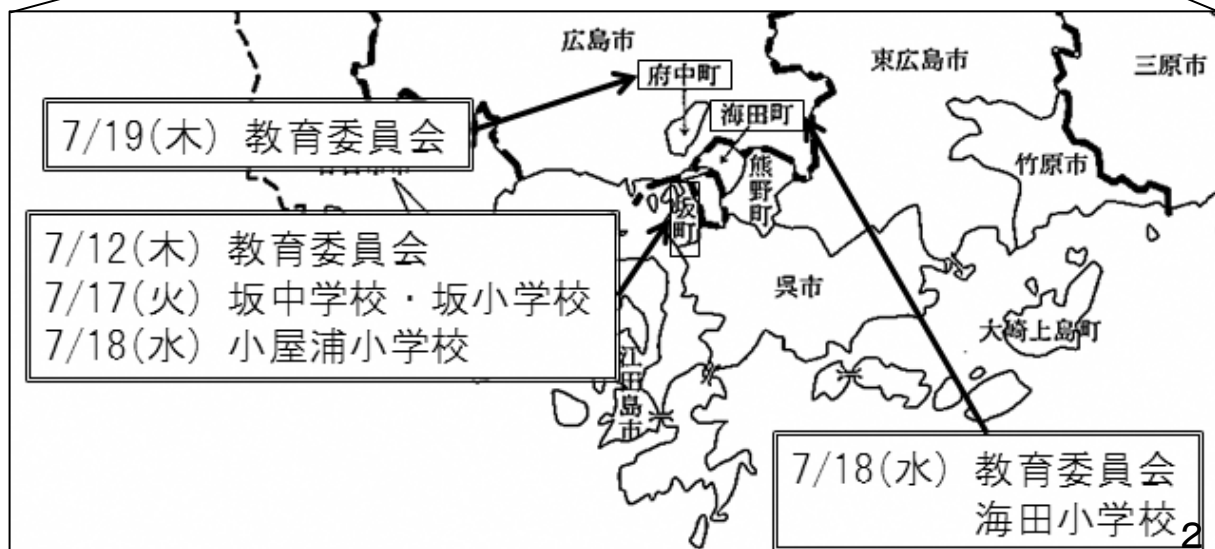
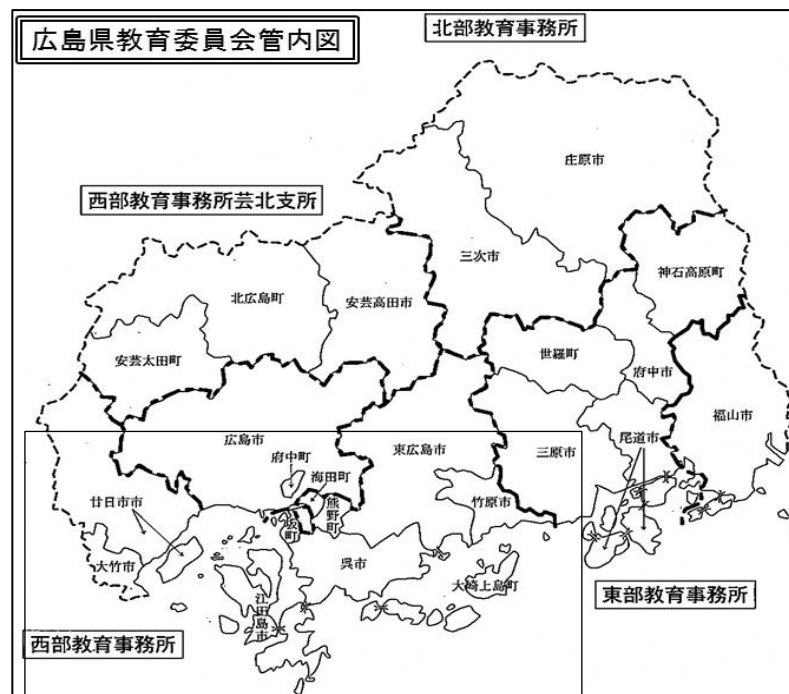
移動手段:公共交通機関、タクシー

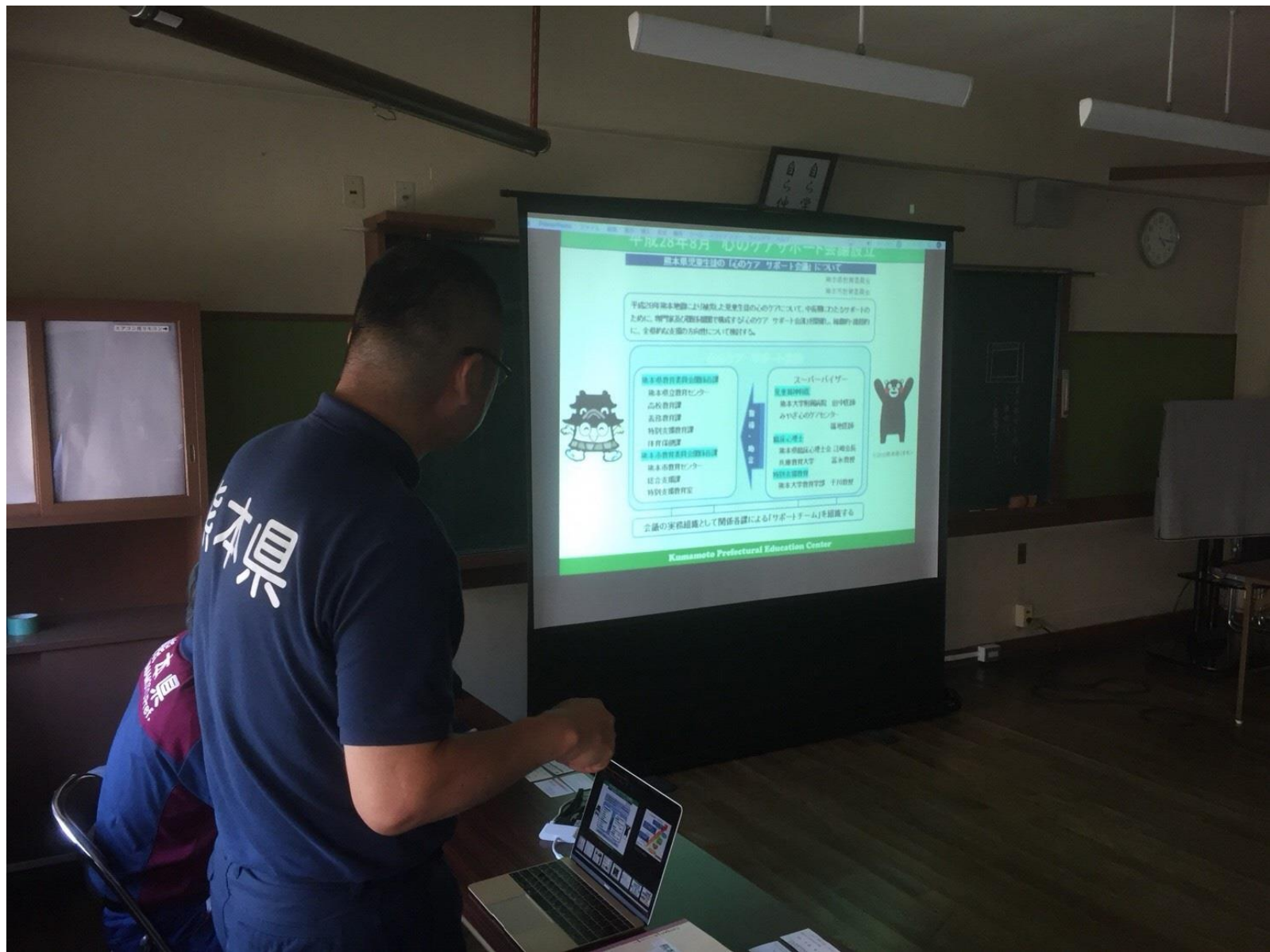
第2次派遣

期間:平成30年7月16日(月)
~7月20日(金)

人数:3名

移動手段:17日 タクシー
:18日~ レンタカー





7月18日（水）海田町教育委員会及び町内6小中学校長等に対する心のケアの助言の様子

活動の感想

- 被災地では道路が寸断され、応急的に整備された道路や通行止めの箇所も多数あり、カーナビの案内通りには目的地へ着けないほどの被害であった。
- 広島市から呉市に向かう道路は、幹線道路のみが通行可能で、時間帯や地域によって車が全く動かない大渋滞が発生し、活動を行う上で計画の見通しが立てにくい状況であった。
- 訪問先では、発災直後の児童生徒のトラウマ反応に対する心のケアのニーズが高く、これまで心のケアサポート会議で取り組んできたことが役に立った。
- 広範囲かつ局所的な災害により、学校間や校区間でも被害状況に大きな差があるため、各教育委員会や各学校が子供達への心のケアの進め方等に苦労されていた。
- 報道等を通じて想像した以上の被害だった。現地の方々と言葉を交わす機会があり、その方々の想いに触れ胸が熱くなった。

支援先の方々からいただいた声

- 学校再開初日での生徒の様子に対する助言や具体的な支援方法、職員の質問に対するアドバイスをもとに、今後長期に渡って児童生徒の支援を行っていききたい。
- 児童生徒の心のケアについて、こちらから無理して思いを引き出すことはせず、学校支援チームの講話やハンドブックを参考にしながら児童生徒に寄り添っていききたい。
- 今回の学校支援チームの話を受けて、災害による心的ストレスに配慮した児童生徒への対処方法を職員に伝えていききたい。
- 各家庭や学校で被災状況が異なるため、学校毎に心のケアの対応が異なる状況がある。今後、すぐにでも各学校の校長先生を集め、今回の学校支援チームの助言内容を伝えていききたい。